

2022年7月5日

## 「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同 およびTCFDコンソーシアムへの参画について ～環境への取り組みでエンタテインメント市場をリードする存在を目指す～

セガサミーホールディングス株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長グループCEO:里見治紀)は、「気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures、以下TCFD※1)」の提言に賛同を表明するとともに、TCFD賛同企業や金融機関などにより構成される「TCFDコンソーシアム※2」に参画いたしました。



### ■セガサミーグループの「環境」に対する取り組み

セガサミーグループは、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献するために、サステナビリティ経営を推進しています。その一環として、5つのマテリアリティ(重要課題)を定め、そのひとつに「環境」を設定しました。当グループでは、地球温暖化防止に向けて、エネルギーの有効活用やオフィス・生産拠点から生じる環境負荷の低減、製品／サービスの環境配慮設計などの取り組みを進めてまいりました。また、2022年5月にはGreenhouse Gases(温室効果ガス)排出量の削減に向けて定量的な目標を設定いたしました。Scope1,2において2030年までにグループ全体で50%以上の削減、2050年までにカーボンニュートラルの達成を目指しています。また、Scope3ではセガ・サミーにおいてサプライヤーアンケート等を通じてお取引先とのエンゲージメントを高め、2030年までにSBT水準を満たす22.5%以上の削減達成を目指します。

### ■TCFDへの賛同表明およびTCFDコンソーシアム参画の目的

当グループではTCFDの枠組みに沿った気候関連財務情報開示を2022年より実施してまいりました。この度、TCFDへの賛同を表明し、コンソーシアムへ参画することで他の賛同企業や金融機関との情報交換を行い、より効果的な情報開示を行ってまいります。今後も当グループは地球環境に配慮し、ステークホルダーの皆様や社会への価値提供を行い、社会課題の解決に取り組むことで持続可能な社会に貢献してまいります。

### ■TCFDとは(※1)

G20の要請を受け、金融安定理事会(FSB)が2015年に設立。自社の気候変動によるリスクおよび機会が経営に与える財務的影響を評価し、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」について開示することを推奨しています。(TCFDウェブサイト:<https://www.fsb-tcf.org/>)

### ■TCFDコンソーシアムとは(※2)

2019年に設立。企業としての効果的な情報開示や、開示された情報を金融機関等の適切な投資判断に繋げるための取り組みについて議論されています。(TCFDコンソーシアムウェブサイト:<https://tcf-consortium.jp/>)